

2021年3月23日

横浜ゴム三重工場、三重県の「企業の森」づくりに協力

横浜ゴム（株）三重工場は3月22日、三重県が推進する「企業の森」づくりに協力し「横浜ゴム悠久の森」づくり活動を進める契約を三重県および三重県度会町（わたらいちょう）と締結しました。同日、三重県庁で開催された調印式には鈴木英敬三重県知事、中村忠彦度会町長、大楽貢三重工場長が出席しました。

横浜ゴムは、国内外の生産拠点に森を創生する「YOKOHAMA 千年の杜」プロジェクトの一環として2010年から「企業の森」づくりに協力し、2020年まで三重県大紀町（たいきちょう）と「横浜ゴム悠久の森」づくりを進めてきました。今回の契約は大紀町との契約が満了となったため、新たに度会町の山々で植樹活動が続けるために締結されました。

三重県は2005年に「三重の森林づくり条例」を制定し、森林の整備を社会全体で支えるため、県民、NPO、ボランティア、企業など多様な主体による森林づくり活動を推進しています。「企業の森」づくりは三重県の条例に基づいた緑化計画の一環として、県、企業、森林所有市町の三者協働で植樹活動を行うものです。

横浜ゴムは、今年2月に新中期経営計画「Yokohama Transformation 2023（YX2023）」（ヨコハマ・トランスフォーメーション・ニーゼロニーサン）を策定しました。ESG経営においては「未来への思いやり」をスローガンとして掲げており、事業活動を通じた社会課題への貢献を進めていきます。今後も地域社会貢献に向けた取り組みを行います。



同意書調印式に参加した鈴木英敬三重県知事（左）、大楽貢三重工場長（中央）、中村忠彦度会町長

このリリースに関するお問い合わせ先

横浜ゴム（株）経営企画部 広報室 担当：岡

TEL：03-5400-4531 FAX：03-5400-4570